

## 令和2年度 仙台市社会事業協会事業報告

### 総括

基本理念「いつも希望を、もっと笑顔をずっと安心を実現したい！！」に基づき業務を行った。

新型コロナウイルスの影響により、予定していた、主要な研修、会議がリモートになる。新年仕事始め式、辞令交付式が中止となり、新人研修が延期となった。

また、コロナウイルス感染拡大に伴い、役所、評議員からの不安の声が上がり、3月22日に予定していた第2回評議員会が書面による議決となった。

創快館をケアハウスから住宅型有料老人ホームに、楽園デイサービスセンターいこい・なごみを楽園デイサービスセンターに事業変更を行った。

顧問社労士からのアドバイスを基に、今まで手付かずだった規程の整備を抜本的に行うことが出来た。就業規則、給与規程の変更を行い、嘱託職員の就業規則、法人の慶弔規程、勤務地限定職員に関する規程を新たに作成した。また、経理規程を現状に合ったものに作り替えた。

経費削減のため、給与明細をペーパー印刷から、メール送信に変更することが出来た。

新卒採用者が予定数に達せず、保育士、介護士ともに1名のみとなった。

保育園の経営の安定化のため、仙台保育園を幼保連携型認定こども園に移行することが出来た。

令和3年4月に開校を予定していた仙台理容美容専門学校の学校法人化が延期となった。

### 次年度への課題

- ・法人創立100周年に向けブランド力のある法人を目指す。
- ・専門家からのアドバイスを基に、理容美容専門学校の収益率アップを図り、学校法人化を目指す。また、指定管理施設である、沖野老人福祉センター、沖野デイサービスセンターの方向性について検討を行う。
- ・部門代表者会議、人材確保対策委員会を中心に、令和4年度の新卒採用に向け、法人のPR、採用方法について検討を行う。また、高齢者施設が介護職員不足のため、外国人労働者確保に向けた外国人採用準備委員会を中心に人材確保に努める。
- ・高齢者施設の資金収支がマイナスの状況が続いている。辻・本郷税理士事務所からのアドバイスを基に赤字事業の見直し、人員配置等抜本的な改革を行う。
- ・感染症対策委員会を中心に新型コロナウイルスの対応を行って行く。
- ・新型コロナウイルス等、緊急時の対応として、リモートによる研修、会議を積極的に行って行く。

## 1. 理事会開催状況

開催日	議事等
令和2年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度事業報告承認を求める件について</li> <li>・平成31年度決算承認を求める件について</li> <li>・楽園デイサービスセンターいこい・なごみの事業変更について</li> <li>・第1次補正予算及び事業計画について</li> <li>・就業規則の変更について</li> <li>・仙台市社会事業協会の職員及び給与に関する規程の変更及び関連規程の廃止について</li> <li>・施設限定職員に関する規程について</li> <li>・経理規程の変更について</li> </ul>
令和2年8月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台保育園の幼保連携型認定こども園への移行について</li> <li>・公印規則の変更について</li> <li>・定款変更について</li> <li>・仙台理容美容専門学校の学校法人化に伴う財産分与について</li> </ul>
令和2年11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容美容専門学校の学校法人化に伴う資産の寄付について</li> <li>・福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の委嘱について</li> <li>・諸規程の変更について</li> <li>・就業規則及びパートタイム就業規則の変更について</li> <li>・危機管理規程の変更について</li> </ul>
令和2年12月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児・介護休業等に関する規程及びハラスメント防止に関する規程について</li> <li>・給与規程の変更について</li> <li>・仙台理容美容専門学校の学校法人化に伴う開校時期の延期について</li> <li>・評議員選任・解任委員会委員の改選について</li> <li>・第2次補正予算について</li> </ul>
令和3年3月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸規程の変更等について</li> <li>・施設長人事について</li> <li>・定款の変更について</li> <li>・公印規則の変更について</li> <li>・仙台つばさ荘及び仙台むつみ荘の前期末支払資金残高の取崩し並びに法人本部事務局への繰り入れについて</li> <li>・第3次補正予算について</li> <li>・令和3年度事業計画並びに収支予算について</li> <li>・評議員会の日時・場所、議題、議案について</li> </ul>

## 2. 監事監査

・5月19日 場所 法人本部事務局会議室

## 3. 評議員会開催状況

開催日	議事等
令和2年6月15日	・平成31年度 決算承認を求める件について ・住宅型有料老人ホーム設置に伴う定款変更について
令和3年3月 書面決議	・定款変更について

## 4. 会議・委員会活動

会議・委員会名	開催回数	主な内容・取り組み
管理職者会議	7回	・委員会・会議の報告・各種議題の議論
部門代表者会議	9回	・法人の慶弔規程・人事評価
感染症対策委員会	4回	・新型コロナウイルスの対応
人材確保対策委員会	2回	・新卒者採用試験及び内部登用試験
教育・研修委員会	1回	・新人職員研修会・今後の活動について
広報委員会	2回	・広報誌 cocorist 、あゆみの発行
外国人採用準備委員会	1回	・特定技能（介護）人材紹介会社について

## 5. 地域における公益的な取り組みに関すること

- ・天空館（入浴施設） 地域の方々に入浴施設開放し低料金で利用  
※コロナウイス感染拡大に伴い中止
- ・喫茶レストラン茶楽 地域の方々に低料金で食事を提供
- ・理容室 gg バーバー 美容室美楽る 地域の方々に低料金で提供

## 6. その他・賞与支給 6月 12月

	成 果	課 題
サービス (教育)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理容師・美容師国家試験は、107名受験して、理容科100%（全国平均83.5%）、美容科は93.4%（全国平均85.6%）の合格率となり全国平均を上回る結果となった。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症により学校行事の中止・内容の変更・時間短縮等を余儀なくされたが、一大イベントのヘアショー、校内技術コンテストを教員と学生が一丸となり実施することができた。</li> <li>3. リモートでの授業を可能にするための機械設備工事と全館Wi-Fi設備を完備した。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国家試験不合格になった受験生の主な理由・原因を調べ今後の解決策を検討し、また、試験対策講習の大切さを理解させ、次年度に活かしていきたい。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の影響により学生が抱えるストレスをいかに軽減し、目標やモチベーションを持たせるかが課題となる。</li> <li>3. 新型コロナウイルスが感染拡大し、実習等の対面授業が不可能となった場合どう対応するか、また、臨時休校になった場合の各教科の履修時間数の調整と有効な授業の組み立てに工夫が必要。</li> </ol>
労務管理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職員の処遇改善を追い風に、魅力ある職場づくりを教職員が一丸となって一層推進して行くことができた。</li> <li>2. 各教科教員資格認定講習等を受講し、受講教員全員が資格を取得することができ、今後の教育効果に期待大である。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 振替休日や有給休暇について、職員相互の調整が上手くつかないこともあるため、今後何らかの方法を考える必要がある。</li> <li>2. 各教科の教員資格を取得していない教員にも認定研修を受けて資格を取得し、活躍の場を広げてもらいたい、学校のスケジュールと研修開催時期の調整をする必要がある。</li> </ol>
経 営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 18歳人口の減少により入学者の減少が著しい中、令和3年度入学者に対して、本校独自の奨学制度を設けた結果、受験者数が昨年より38名の増となった。</li> <li>2. オープンキャンパスについては、午前・午後の2回に分け、また、内容や参加人数を限定するなど感染症対策を講じながら工夫して実施することができた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な原因で入学者が減少している中、理容・美容希望者を増やすため、この仕事の魅力を若い世代にいかに伝えていくか。</li> <li>2. 入学生募集活動やオープンキャンパス等は新型コロナウイルス感染症の影響で自粛傾向にあったため例年通りの活動ができなかった。今後の活動も新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの活動になるため、入学希望者数にどう影響するかが心配である。</li> </ol>